

2023年度 国語科

教科	国語科	科目	国語演習①	単位数	4	年次／コース	高校2年生／特進文系
使用教科書	精選古典探究古文編・精選古典探究漢文編・精選言語文化（東京書籍）						
副教材など	『新修 古典文法』（京都書房）『漢文基本ノート』（浜島書店）『読んで見て覚える重要古文単語 315』（桐原書店）『新成 古典』（尚文出版）						

1. 学習の到達目標

<p>●科目について</p> <p>論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。生涯にわたって読書・古典に親しみ自己を向上させる姿勢を養う。<u>大学入学共通テスト模試（2月）で得点率70%を突破する。</u></p> <p>●コンピテンシーについて</p> <p>多様な文章を多面的・多角的な視座から比較し、評価することができる。文章が伝えたいことを明確に理解した上で、根拠をもって自分の意見に取り入れることができる。</p>
--

2. 学習方法について

<p>●授業中において</p> <p>授業で解説している内容をノートにきちんと書く。重要語句の読み方や意味を押さえ、本文の流れをきちんと把握することに努める。教科書を中心に設定された課題、目標に応じて文章を読み、知識を広げ、自分の考えを深め、確かなものにするとともに、他者と協働する際に十分に発揮できるように意識を持つようにする。</p> <p>●家庭学習において</p> <p>自学自習で知識を定着、振り返りを行う。予習に関しては、授業の理解度に大きく関わってくるため、積極的に行う。授業で課題等が出ていない場合であっても、授業内容の復習や意見交流をした内容の振り返りを行う。特に、自分自身の意見に根拠を紐づけることはできていたか等、留意すべきことを確認するようにする。</p>
--

3. 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	①：知識・技能	②：思考・判断・表現	③：主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 <u>『古文単語315』第二章、敬語の章を扱う。古文文法、漢文句形は既習範囲の復習をしながら年度末で全範囲を学習し終える。</u>	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書・古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
評 価 方 法 【 は 略	パフォーマンス課題【パ】授業・家庭学習の成果【成】リフレクション【リ】予習（読解シート）【予】定期考査【考】小テスト【小】	【パ】【成】【リ】【予】 【考】【小】	【パ】【成】【リ】

上に示す観点・評価方法に基づいて、各観点で評価し、学期末に当該学期の観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）及び評定（1～5の5段階）にまとめます。また、学年末に年度を通しての観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）及び

評定（1～5の5段階）にまとめます。

4. 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元（題材）の評価規準	評価方法
			①	②	③		
1 学期	【古文】 『十訓抄』 「成方といふ笛吹き」	・展開のおもしろさを味わいながら、説話を正確に読み取る	○	○	○	①：本文中の古文重要語句や用法を理解している。 ・本文中の助動詞の用法などの文法事項を理解している。 ②：現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 ・俊綱が笛を手に入れるために用いた策と、成方が笛を奪われぬために用いた策、それに対する互いの反応を読み取り、その内容を説明している。 ・俊綱・成方の話と、趙の文王のエピソードとの共通性を理解し、根拠とともに説明している。 ③：俊綱・成方の話と、趙の文王のエピソードとの共通性を踏まえ、説話編者が中国の話を用いた意図や効果について、自分の考えを文章にまとめ、発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】
	【漢文】 『十八史略』 「完璧而帰」	・展開のおもしろさを味わいながら、漢文の読み方を確認する。				①：『十八史略』とその編者について、知識を深め、その内容を説明している。 ・本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。 ・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。 ②：文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 ・秦と趙の関係をふまえ、藺相如の発言がなされた場面とその意図を理解している。 ③：「完璧」の原義と現在の意味を正しく理解し、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】
	文法事項の復習	文法事項を理解し、文章の読解につなげる。	○		○	①：助動詞の用法などの文法事項を理解している。 ③：学んだ知識を文章読解に活かすことができるように注意して身に付けようとしている。	【小】 【予】 【成】 【リ】 【考】
	【古文】 『伊勢物語』 「小野の雪」	・歌物語の特色に注意しながら、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を読み取る。	○	○	○	①：本文中の古文重要語句や用法を理解している。 ・係助詞「ぞ」「や」の用法を理解し、他の係助詞の知識を得ている。 ②：敬語に留意し、文脈に沿った適切な現代語訳をしている。 ・場面の区切りを理解し、各場面における「翁」と惟喬親王との関係を読み取り、根拠を示しながら他者に説明している。 ・惟喬親王の行動が表す心情とそれに対する「翁」の心情を理解し、それに対して自分の意見や感想を持っている。 ③：惟喬親王の行動が表す心情とそれに対する「翁」の心情について文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】

<p>【言語】 『羅生門』</p>	<p>・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題について考える。</p>	○	○	○	<p>①：本文に登場する漢字を読んだり書いたりし、その用法について理解している。</p> <p>・小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別の小説を読む際にも活用している。</p> <p>②：第一段を読み、下人が抱えている悩みについて理解し、段落の要旨を説明している。</p> <p>・第二段を読み、下人の心理がどのように変化したかについて理解し、段落の要旨を説明している。</p> <p>・第三段を読み、老婆の話を受けて下人の心理や行動の変化について読み取り、段落の要旨を説明している。</p> <p>・羅生門の情景描写や比喩表現、語り手の役割などを的確に把握し、その効果を説明している。</p> <p>③：老婆の発言についてどのように思うか文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。</p>	<p>【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】</p>
<p>一学期中間考査</p>						
<p>ベネッセ総合 学力テスト 過去問演習</p>		○	○	○	<p>①：演習で取り組んだ知識・技能分野の問題について確実に理解し、習得している。</p> <p>②：文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、必要な条件をふまえて現代語訳や解釈をすることができる。</p> <p>③：自ら進んで本文の内容を理解し、ワークシートにまとめたり、説明したりしている。</p>	<p>【予】 【成】 【リ】 【考】</p>
<p>漢文句法の 復習</p>					<p>①：漢文句法などの文法事項を理解している。</p> <p>③：学んだ知識を文章読解に活かすことができるように注意して身に付けようとしている。</p>	<p>【小】 【予】 【成】 【リ】 【考】</p>
<p>【古文】 『枕草子』 「雪のいと 高う降りた るを」 敬語</p>	<p>・随筆の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を広げる。</p>	○	○	○	<p>①：本文中の古文重要句や用法を理解している。</p> <p>・本文中の助動詞や敬語の意味や用法、敬意の対象などの事項を理解している。</p> <p>②：現代語訳する際の注意点を踏まえて、適切な現代語訳をしている。</p> <p>・どのような場面か、また発言や動作の主体は誰か把握し、根拠とともに説明している。</p> <p>・「御簾を高く上げれば」という作者の動作の意図について理解し、説明している。</p> <p>・作者の動作に対する定子の心情について理解し、説明している。</p> <p>③：平安時代の後宮の生活と、天皇の後に仕える女房たちの資質について文章にまとめ、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。</p>	<p>【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】</p>

	<p>【漢文】 『史記』 「鴻門之会」</p>	<p>・『史記』を読み、項羽の生き方を通して人間のあり方について関心を深め、調べて発表する。</p>	○	○	○	<p>①：本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。 <p>②：文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物のはたらきについて理解し、その内容を説明している。 ・「臣死且不避。……不取也。」の樊噲の主張について理解し、その内容を説明している。 <p>③：登場人物の性格や人柄について自分の考えを文章にまとめ、発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。</p>	<p>【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】</p>
一学期期末考查							
2 学 期	<p>【漢文】 『史記』 「四面楚歌」</p>	<p>・『史記』を読み、項羽の生き方を通して人間のあり方について関心を深め、調べて発表する。</p>	○	○	○	<p>①：本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。 ・「すなはち」と訓読する文字とその意味について理解し、わかりやすく説明している。 <p>②：文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「楚歌」が項羽を驚かせた理由について理解し、根拠とともに説明している。 ・「力拔山兮氣蓋世」の詩にうたわれた項羽の心情について考え、それに対する自分の意見や感想を持っている。 <p>③：四面楚歌の状態となった項羽の行動や心情について自分の考えを文章にまとめ、発表や討論を通してそれをさらに深めようとしている。</p>	<p>【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】</p>
	<p>【古文】 『平家物語』 「壇ノ浦の合戦」</p>	<p>・朗読などを通して、内容の解釈を深めたり、表現の特色について理解を深めたりする。</p>	○	○	○	<p>①：本文中の古文重要語句や用法を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の助動詞の用法などの文法事項を理解している。 ・軍記物語の文章の特徴について理解している。 <p>②：現代語訳する際の注意点を踏まえて、適切な現代語訳をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「壇の浦の合戦」が源平の戦いにおいてどのような位置づけにあるかを理解し、説明している。 ・知盛の発言や、それに対する教経の捉え方に着目し、知盛と教経それぞれの心情と人物像を読み取り、他者に説明している。 <p>③：登場人物が死に直面した際の心情について、考えを文章にまとめるとともに、発表や討論を通して自分の考えをさらに深めようとしている。</p>	<p>【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】</p>
	<p>【古文】 『蜻蛉日記』 「なげきつ つひとり寝 る夜」</p>	<p>・日記に表れている作者のものの見方、感じ方、考え方を、自分と関係づけながら読み取</p>	○	○	○	<p>①：本文中の古文重要語句や用法を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の助動詞の用法などの文法事項を理解している。 <p>②：現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌や「移ろひたる菊」に込められた作者の心情を読み取り、内容を説明している。 	<p>【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】</p>

	る。				<ul style="list-style-type: none"> ・作者と兼家との間に起こったことの経緯を時間の経過に沿って理解し、説明している。 ・兼家との関係が作者の生活やものの見方、感じ方、考え方にどのように影響しているか把握し、それに対する自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を説明している。 ③：作者と兼家の心情の交錯について読み取り、作者のものの見方、感じ方、考え方について考察するとともに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	
【言語】 「雨漏りの音」	<ul style="list-style-type: none"> ・現代を舞台とした小説を読み、登場人物の心情の変化や人間関係の在り方について考える。 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ①：本文に登場する漢字を読んだり書いたりし、その用法について理解している。 ・小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別の小説を読む際にも活用している。 ②： <ul style="list-style-type: none"> ・一つ目の物件の雨漏りに対する茜と晴人の反応の違いを読み取り、その理由を考え、その内容を説明している。 ・一つ目の物件を見て、二人が同じ感想を持った理由を考え、その内容を説明している。 ・二つ目の物件に向かう車内で、茜が雨漏りの音について思い出した内容と、思い出した理由を捉え、その内容を説明している。 ・二つ目の物件で茜が抱いた気持ちについて考え、その内容を説明している。 ③：登場人物の心情の変化を読み取り、人間関係の在り方について自分の考えを伝えるとともに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。 	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】
二学期中間考査						
【漢文】 『小説』 「夜行逢鬼」 漢文句形	<ul style="list-style-type: none"> ・小説の展開に即して、内容を正確に読み取りながら、発想や表現の特色を理解する 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ①：本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。 ・「以是」「是以」「是非」「於是」など、「是」を用いた語句の読みと用法について正しく理解している。 ・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。 ②：文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 ・宋定伯と鬼が会ってから、宋定伯が銭千五百をもうけるまでの話の展開を、それぞれの段落での内容を整理しつつ、理解している。 ③：『太平広記』などに収められた志怪や伝奇を読み、その内容や読後の感想について発表し、さらに討論などを通して自分の考えを深めようとしている。 	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】
【古文】 『源氏物語』 「若紫」	<ul style="list-style-type: none"> ・他の作品や絵との関係も踏まえながら、作り物語の内容を的 	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ①：本文中の古文重要語句や用法を理解している。 ・本文中の助動詞や敬語・係助詞の用法などの文法事項を理解している。 ②：現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。 	【小】 【予】 【成】 【リ】

		確に読み取る。				<ul style="list-style-type: none"> ・二首の歌に込められたそれぞれの人物の心情を読み取り、説明している。 ・光源氏が若紫を見いだした経緯と、若紫に対する心情の変化を読み取り、内容を説明している。 ・今後の展開について調べ、登場人物のたどる運命に対しての自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を説明している。 <p>③：本文からイメージされた各登場人物の様子と土佐光吉の絵に描かれた像を比較して相違点を文章にまとめ、話し合いを通して自分の考えをさらに深めたり広げたりしようとしている。</p>	【パ】 【考】
	【古文】 『徒然草』 「世に従は ん人は」	・随筆に表れている作者の主張を読み取り、ものの見方、感じ方、考え方を深める。	○	○	○	<p>①：本文中の古文重要語句や用法を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文中の助動詞の用法などの文法事項を理解している。 <p>②：現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者が人の一生や生死、時機についてどう捉えているのかを読み取り、根拠とともに説明している。 ・作者の論理展開を読み取り、その意図を説明している。 ・作者の人生観を踏まえ、人生に対する自分の考えを広げたり深めたりし、その内容を説明している。 <p>③：作者の人生観を読み取って伝えるとともに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】
	【言語】 詩歌	・リズムや形式に注意して詩を読み味わい、「ふるさと」に対する作者の心情について考える。	○	○	○	<p>①：歌集や作者について知識を深め、その内容を説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの短歌に登場する言葉の意味や使われ方を理解し、知識を得ている。 <p>②：それぞれの短歌について、情景や心情を読み取り、その内容を説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短歌の表現技法やその効果について理解し、その内容を説明している。 <p>③：短歌の特徴や表現効果を理解し、それぞれの歌に込められた情景や心情を読み取って感想文を書き、さらに他者の感想文を読んで自分の考えを深めようとしている。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】
二学期期末考査							
3 学 期	大学入学共通テスト 模試過去問演習		○	○	○	<p>①：演習で取り組んだ知識・技能分野の問題について確実に理解し、習得している。</p> <p>②：文章の内容を叙述に即して的確に読み取り、必要な条件をふまえて現代語訳や解釈をすることができる。</p> <p>③：自ら進んで本文の内容を理解し、ワークシートにまとめたり、説明したりしている。</p>	【予】 【成】 【リ】 【考】
	【漢文】 『陶淵明集』 「五柳先生伝」 漢文句法の総復習	・文章の構成や展開を理解し、さまざまなものの見方、考え方	○	○	○	<p>①：本文中の漢字の意味や成り立ち、用法を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訓点に従って漢文を読み、正確に書き下し文に直している。 ・句法の意味・用法を理解し、その内容を説明している。 <p>②：文法事項等を踏まえた上で、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をし</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】

					<p>に触れる。</p> <p>ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・五柳先生の行動とそこからつかめる人物像を、根拠を明確にして理解している。 ・「五柳先生伝」が陶潜の理想の生き方を表現したものであること、またその理想の生き方の内容を正しく理解している。 <p>③：「五柳先生伝」に描かれた陶潜の理想とする生き方について、現代の出来事と関連づけて、自分自身の考えを深めるとともに、その内容を説明している。</p>	【パ】 【考】
【古文】 『大鏡』 「花山天皇の出家」 紛らわしい語の識別	・作品の特色に注意しながら、歴史物語の内容を的確に捉える	○	○	○	<p>①：本文中の古文重要語句や用法を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・『大鏡』の概要や特徴について理解し、その内容を説明している。 ・本文中の助動詞や敬語の用法などの文法事項を理解している。 <p>②：現代語訳する際の注意点を踏まえて、文脈や背景に沿った適切な現代語訳をしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・花山天皇の行動と、その時々心理とを読み取って整理し、説明している。 ・道兼の言動が花山天皇の出家にどう影響したかを読み取り、説明している。 <p>③：『大鏡』における語り手とはどのようなものか、立場や観点などについて自分の考えを文章にまとめるとともに、話し合いを通して自分の考えをさらに深めようとしている。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】
【言語】 『富岳百景』	・主人公の心情の変化と、富士山や周囲の人々についての描写に注意して、小説を読み味わう。	○	○	○	<p>①：本文に登場する漢字を読んだり書いたりし、その用法について理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小説の読み方の基本（登場人物や場面の把握、心情の変化への着目）を理解し、別の小説を読む際にも活用している。 <p>②：第一段を作品冒頭に置いた作者のねらいや効果について理解し、その内容を説明している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第二段～第五段を読み、「私」が周囲の人々の態度や人柄に対してどのような感じを持ったかを読み取り、その内容を説明している。 ・周囲の人々との触れ合いを通じて、「私」の心情がどのように変化したかを読み取り、その内容を説明している。 ・「私」の「富士」に対する気持ちの変化を読み取り、その内容を説明している。 <p>③：「私」の心情の変化を理解し、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、それについて根拠をもって説明している。</p>	【小】 【予】 【成】 【リ】 【パ】 【考】
学年末考査						